



Title: 冬の準備、お済みですか？

しばらく前の休みの日のこと。昼頃所用で外出し一時間あまりで家に戻ったのですが、変哲もない町内の風景になんとはなしの違和感を覚えました。別に何の変化もないはずなのに。

あっ、と思い出したのは、近所で見かけた路上で立ち話をするふたりの女性のこと。女性と書いたのは「かあさんたち」と「おばあさんたち」のどちらにするかさんざん迷った末のことですが、とにかく人生の先輩たちです。それはともかくそのふたり、出掛ける時も寸分違わぬ姿であそこにいなかったか。小春日和の陽だまりの中ならいざ知らず、この寒空の下で。恐るべし、北国のかあさんたち。

#### ❖カーリルで遊ぶ

国内随一の図書館検索サイト「カーリル」は、全国6500余りの図書館の蔵書が検索できる優れたもの。活用している人も多いことでしょう。3千強の公共図書館だけでなく、大学図書館などもほぼ網羅した便利なサービスです。

カーリルにはブログもあり、幅広いテーマで中身の濃い読み物となっています。こちらは検索しにくいのが難ですが…。その中にいろいろな図書館のランキングもあり、たまに拾い読みして楽しんでいます。その中から恒例(?)のクイズを一つ。

【問題】全国6519図書館の中で大館市内4図書館は次の順位。いったい何の順位？

1740位 花矢図書館

1827位 中央図書館

1918位 比内図書館

2582位 田代図書館

ほとんどの方は見当もつかないと思うので、答えを書いてしまいます。これは標高の高い順番。花矢が78.73m、中央72.86m、比内67.99m、田代43.00mです。

秋田県内で一番標高の高い図書館は、仙北市立田沢湖図書館の243.59mで全国540位。日本一高い図書館は長野県南牧村図書館「はしばみ」で、大館市の最高地点・田代岳山頂より166mも高い1344mです。全国上位には「日本の屋根」日本アルプス沿いの長野、岐阜などが並んでいます。

それでは、一番標高の低い図書館は？

なんとマイナス5.28m。こちらは三重県桑名市の長島輪中図書館です。輪中（わじゅう）といえば昔社会科で習いましたね。川の中州などで周囲に堤防をめぐるした海拔0メートル地帯。長島は、木曾三川（木曾川・長良川・揖斐川）の河口部が集まって形づくる中州です。そんなところに住んで怖くないのかな、と特に昨今は思いますけどね。同図書館のHPを見ると、「暴風警報発令中の場合は休館することがあります」だし。

北国の図書館も「暴風雪の場合は休館することがあります」にしたいと思う日が何度かありますけどね。いやいや、決死の思いで開館しますけど。

ところで、前出の日本最高（地点）の図書館「はしばみ」のある南牧村ですが、実は同名の村が群馬県にもあります。ふつう同名の市町村は、2つの府中市を唯一の例外

に、後からできた方に旧国名などをつけて区別がつくようにするものですが、南牧村はなぜ同じ？この場合は読みが違っていました。長野県は「みなみまき」村、群馬の方は「なんもく」村なのでした。

と、ここまでを前振りに自分が見てきた各地の図書館の話につなげるつもりでしたが、字数を使いすぎました。その話はいずれまた。ちなみに、今のところ私にとって国内図書館のナンバーワンは、浦安市立中央図書館です。でも、どんな図書館でも自分にとってのオンリーワンは、地元の図書館です。

明日と明後日は比内の片貝家ノ下遺跡の見学会。穴ぼこしか残っていない三内丸山遺跡にもない、屋根の残る埋没建物のある遺跡ってすごいです。すごいです、って子どもみたいですが。三内丸山とは時代も大きく違うしね。それはともかく、博物館関係者や学芸員の皆さんの興奮はさぞや、とお察しいたします。こちらは菅江真澄の驚き（のたぶん何分の一か）を追体験できそうです。面白いなあ、大館。（陽）